



トステム株式会社

カーブポートシグマ 木目調 ワイド 取付け説明書

※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

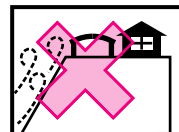
▲ 注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

●設置条件

- ・母屋の屋根からの雪が直接当たらない場所に設置してください。
- ・カーブポートシグマ木目調ワイド（一般地域用600タイプ）は積雪（新雪）20cm以下の地域用です。
- ・本製品は、地上階に取付ける設計になっています。2階以上の高所には取付けないでください。強風にあおられるおそれがあります。
- ・柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。
- ・崖などの高低差のある場所には設置しないでください。



●部材の固定

- ・タッピンねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。
- ・必ず指定の組立てねじ・ボルトで固定してください。

●基礎

- ・基礎は当社指定寸法以上にしてください。
- ・地下埋設物（給排水管など）に影響を与えないでください。
- ・寒冷地で凍上のおそれがある地域に取付ける場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- ・基礎には、海砂・急結剤・凍結防止剤を使用しないでください。柱が腐食するおそれがあります。
- ・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・養生期間は十分（4日～1週間以上）とり、その間重い物をのせたり振動を与えたりしないよう指示してください。

●施工

- ・取付けは、専門業者の方が行ってください。
- ・指定以外の改造・変更（階段屋根・母屋への取付け・4周の囲いなど）をしないでください。
- ・当社指定の付属品以外は取付けないでください。
- ・必ず当社指定の屋根パネルを使用してください。

※水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●シーリング処理

- ・指定の個所にコーキング材を充てんしてください。

※製品腐食のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

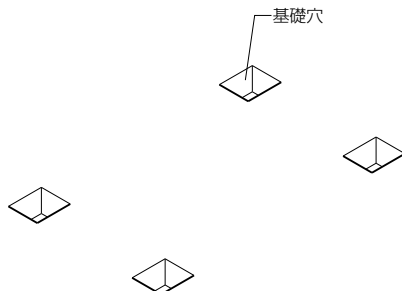
●絶縁処理

- ・亜鉛・ステンレス以外の金属とアルミ型材が接触する場合は、絶縁処理をしてください。

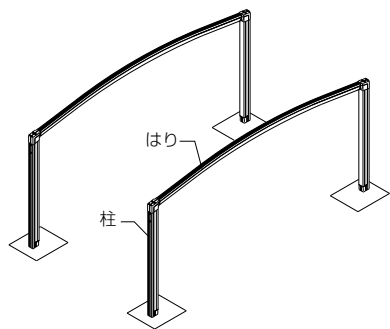
■施工上のおお願い

●水平・垂直は水準器などで正確に出してください。施工に支障が出るおそれがあります。

※本図はカーブポートシグマ木目調ワイドドレスアップタイプの取付け例を示します。
※（ ）内寸法は60サイズの場合を示します。



② 柱とはりの取付け



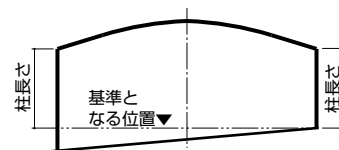
② 柱とはりの取付け

- ① 柱にブラケット・アンカー棒を取付け、柱を建込みます。
- ② 柱化粧材1、2を柱に取付けます。
※柱と柱化粧材1、2の上端を合わせて取付けてください。
※柱化粧材1は穴加工がある方が下側になります。(図1)
- ③ はりをブラケットに取付けます。
- ④ ブラケットカバーを取付け、ブラケットカバー化粧材を
ねじ止めしてください。
※ブラケットカバーは必ず後枠より先に取付けてください。
後からでは取付けられません。
※ブラケットカバー化粧材はドレスアップタイプのみです。
- ⑤ 柱化粧材キャップを取付けます。
※「使用上の注意」ラベルが張ってある柱に縦どいセットを
取付けると、表示が見えなくなります。縦どいセットの
取付けない側に表示ラベルを向けてください。

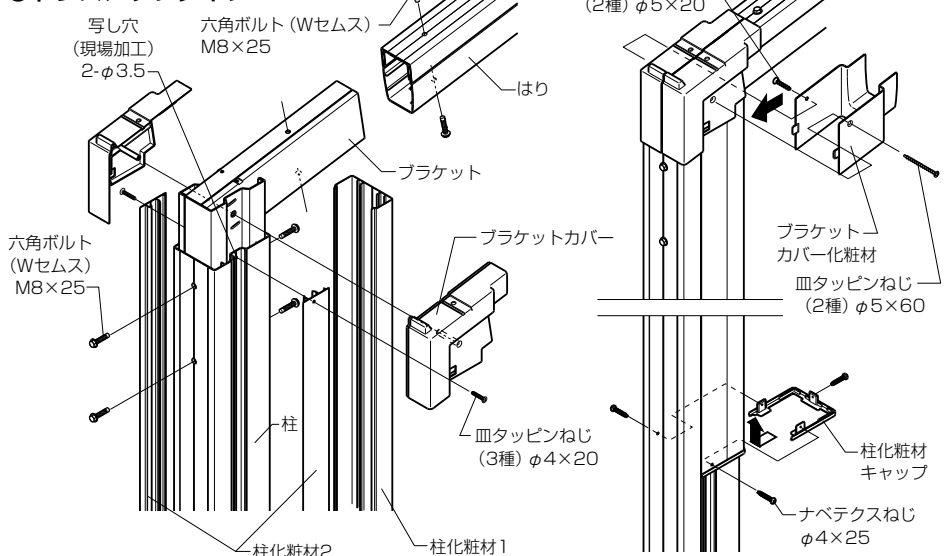
▲ 注意

● 柱とはりを固定するボルトは
必ず増締めを行ってガタつか
ないことを確認してください。

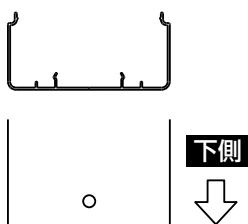
■ 柱長さについて



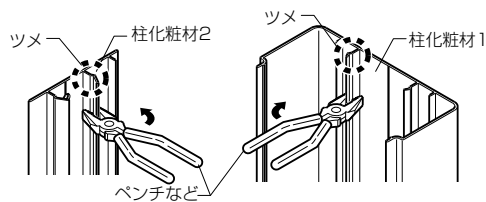
● ドレスアップタイプ



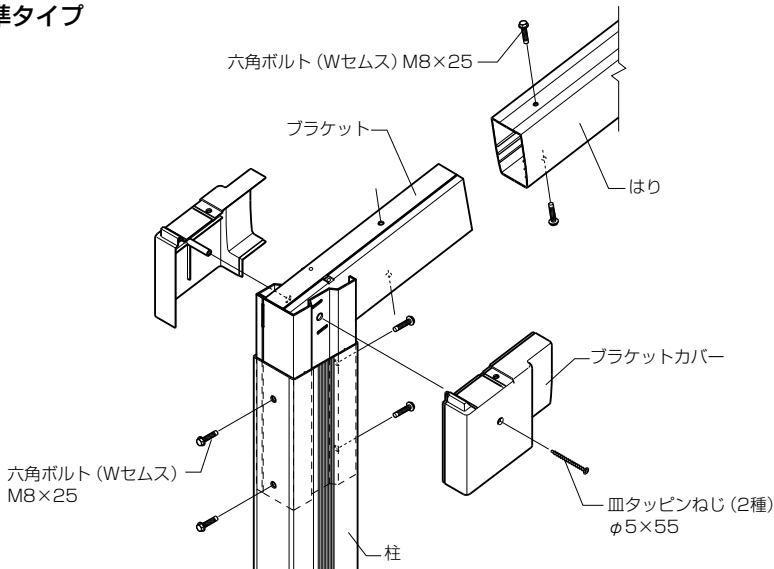
● 柱化粧材1 (図1)



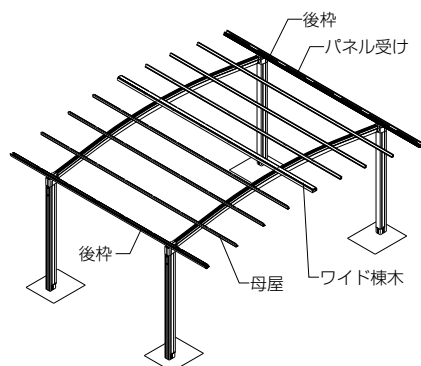
※ 柱化粧材取付け後、ガタツキの有無を確認してください。
※ 柱化粧材1、2の取付けが緩い場合は、ペンチなどでツメ
を広げて取付けてください。



● 標準タイプ

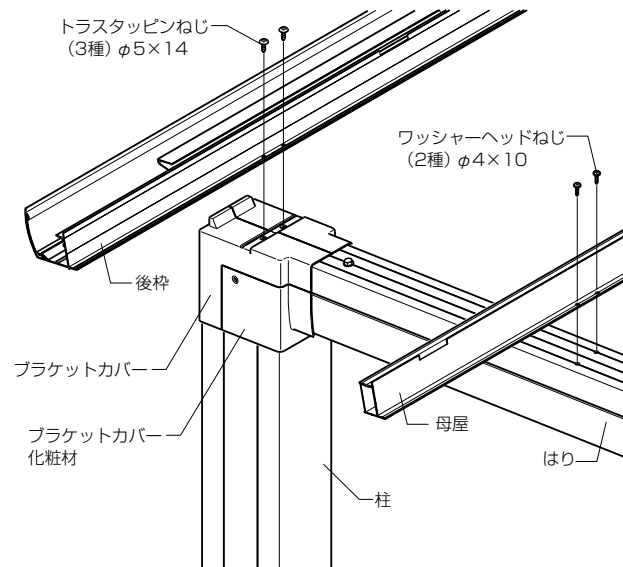
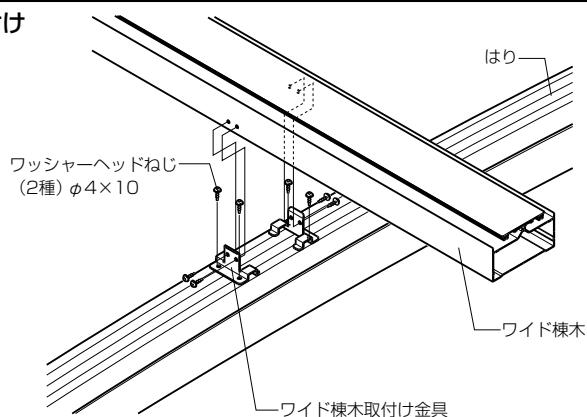


3 ワイド棟木・母屋・後枠の取付け

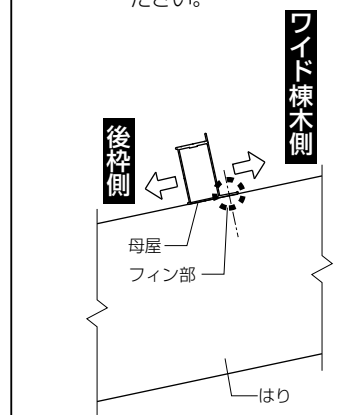


3 ワイド棟木・母屋・後枠の取付け

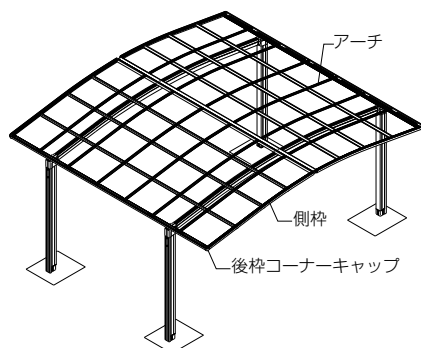
- ①後枠をブラケットに取付けます。
 - ②はりの中央部にワイド棟木取付け金具を取付け、ワイド棟木を固定します。
 - ③ワイド棟木側にフィン部を向け、母屋をはりに取付けます。(図2)
- ※柱を移動した場合は、ワイド棟木・後枠・母屋をはりに合わせて、後枠はφ5.5、ワイド棟木はφ3.5、母屋はφ4.5の穴加工を行ってください。
- ※既存の加工穴には穴ふさぎシールを張ってください。



(図2) ※ワイド棟木側に必ずフィン部を向けてください。



4 側枠・アーチの取付け

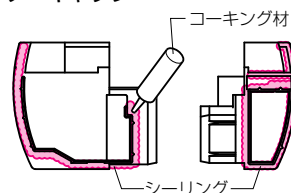


4 側枠・アーチの取付け

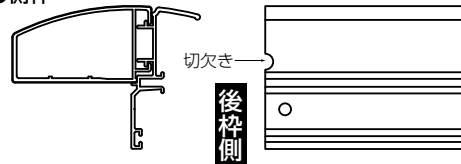
- ①後枠コーナーキャップにコーキング材を充てんし(図3)、側枠に取付けます。※側枠には左右があります。切欠きが入っている方を後側枠にしてください。
- ②後枠・母屋・ワイド棟木に側枠を取付けます。
- ③アーチの前後を確認し、取付けます。
- ④屋根枠回りの対角・水平出し及び柱の垂直出しをします。

■シーリング箇所(図3)

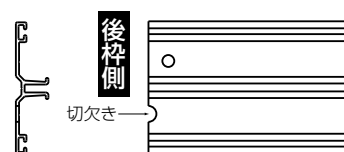
●後枠コーナーキャップ



●側枠



●アーチ



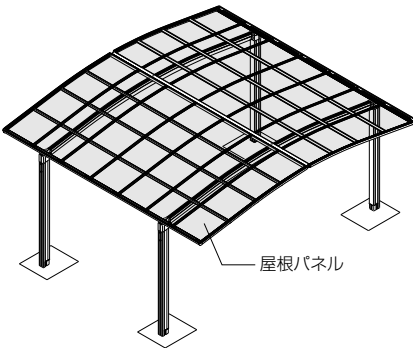
▲ 注意

●指定の個所に必ずシーリングしてください。

お願い

※後枠・母屋・ワイド棟木には加工穴があいていません。側枠・アーチ側の穴に合わせナベテクスねじφ4×13で止めてください。

5 屋根パネルの取付け

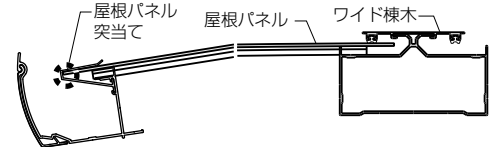
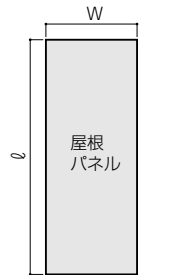


5 屋根パネルの取付け

- ①屋根パネルをワイド棟木に差込み、パネル受けに差込んでください。
※屋根パネルは後枠側に突当ててください。
※アーチ部ののみ込み寸法は、左右均等(16.5mm)にしてください。

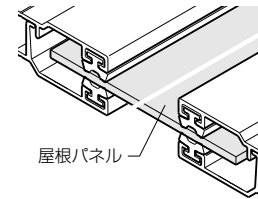
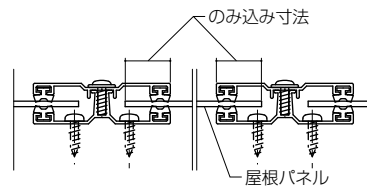
■屋根パネル寸法表

サイズ呼称	ℓ	W
48	2388	689
51	2541	
54	2694	
60	3018	

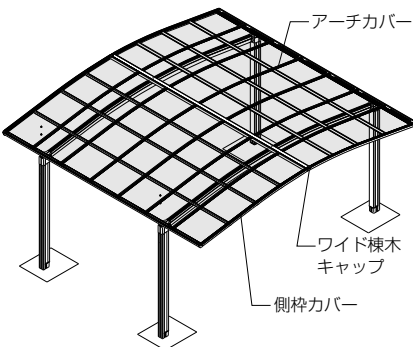


▲ 注意

- 屋根の取付けはパネルののみこみが左右均等になるようにしてください。
強風により飛散するおそれがあります。

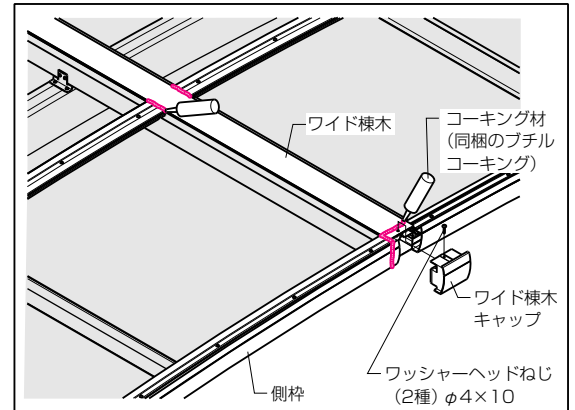


6 アーチカバー・側枠カバーの取付け



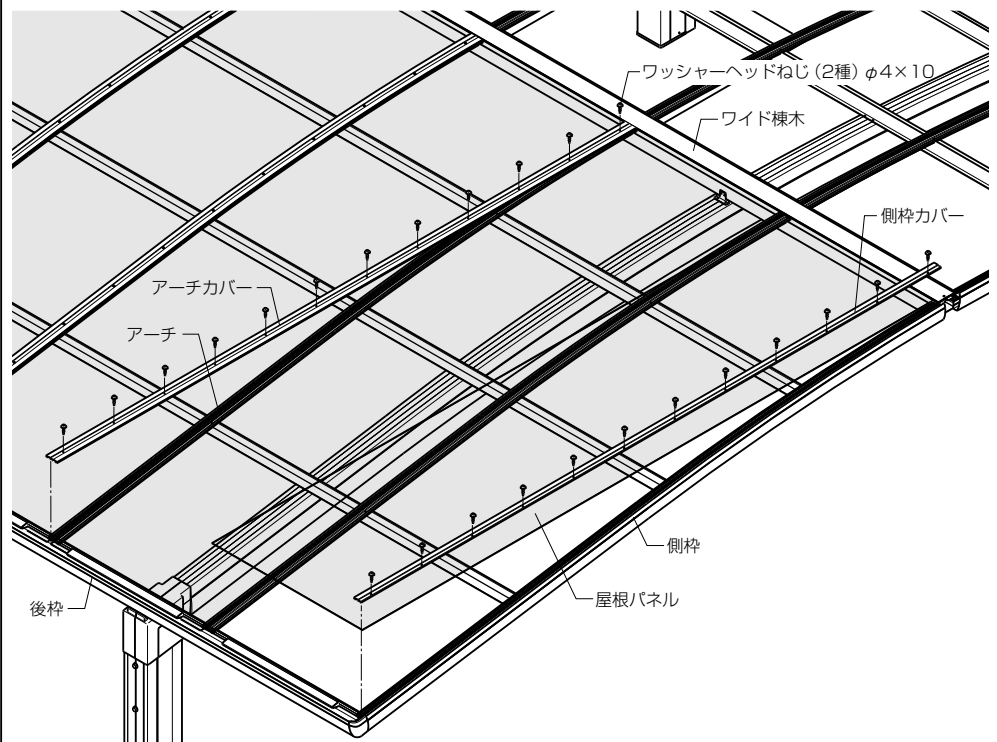
6 アーチカバー・側枠カバーの取付け

- ①アーチカバー・側枠カバーをワイド棟木に突当てます。
②ワイド棟木側からアーチにねじ止めします。
※アーチとかみ合っていることを確認してください。
③アーチカバーとワイド棟木との間に、コーキング材を充てんします。
④ワイド棟木キャップをワイド棟木にねじ止めします。
※側枠カバー、ワイド棟木、ワイド棟木キャップとの間にコーキング材を充てんしてください。

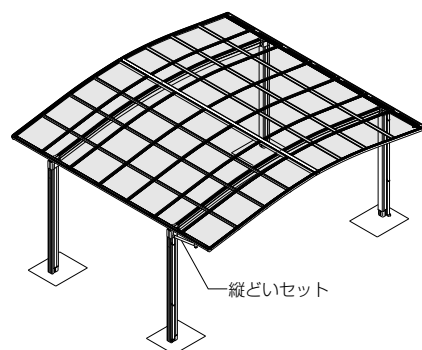


▲ 注意

- 指定の個所に必ずシーリングしてください。



7 縦どいセットの取付け



7 縦どいセットの取付け

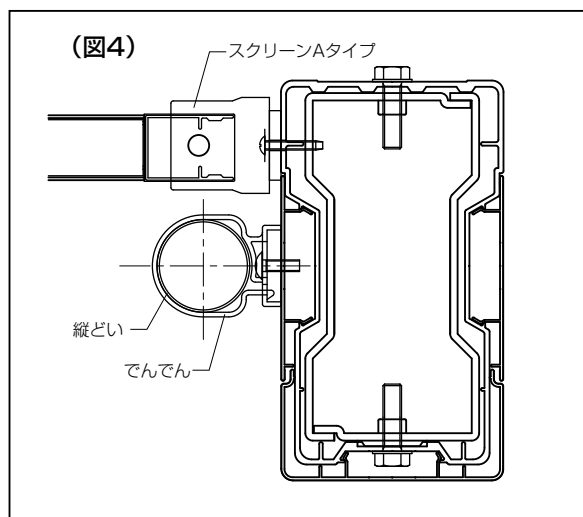
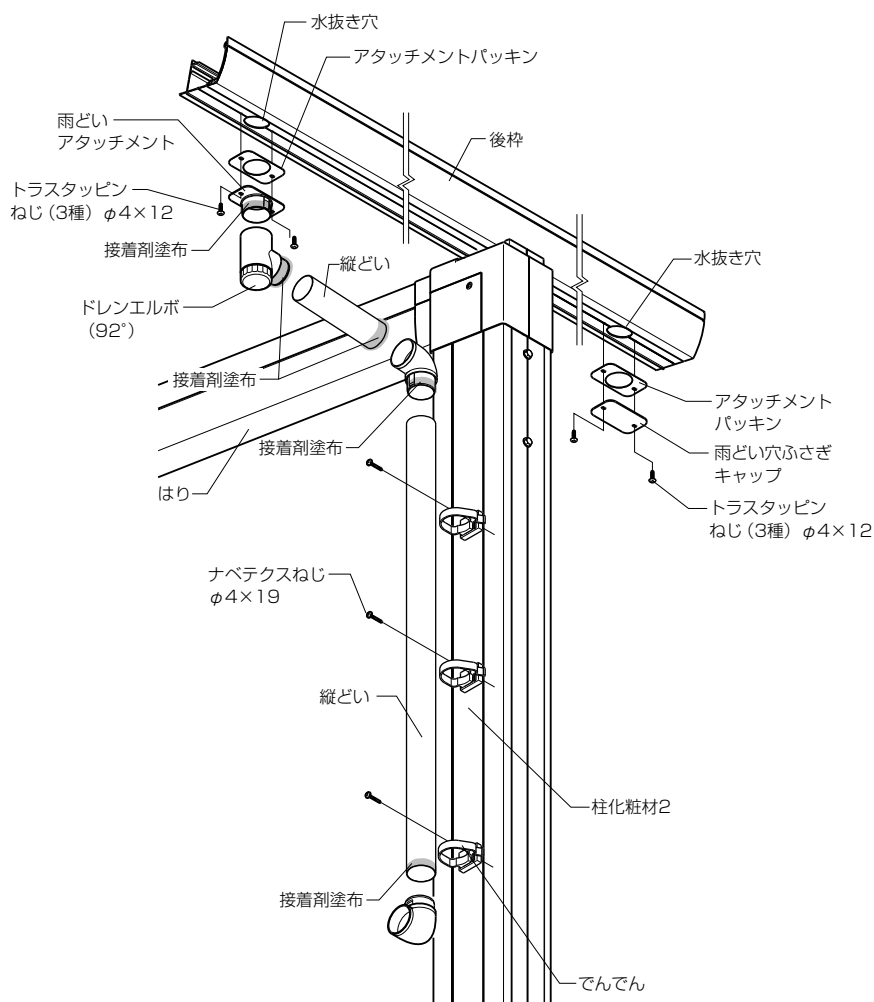
①後枠両端にある水抜き穴のうち、片方に縦どいセットを取付けます。

②もう一方の穴に雨どいアタッチメント（穴ふさぎ）を取付けます。

※ドレスアップタイプの場合、でんでんは柱化粧材2にかからないように取付けてください。

※スクリーンAタイプ（縦使い）を取付ける場合は、柱の中央に取付けてください。（図4）

標準タイプの場合は柱の中央に取付けます。



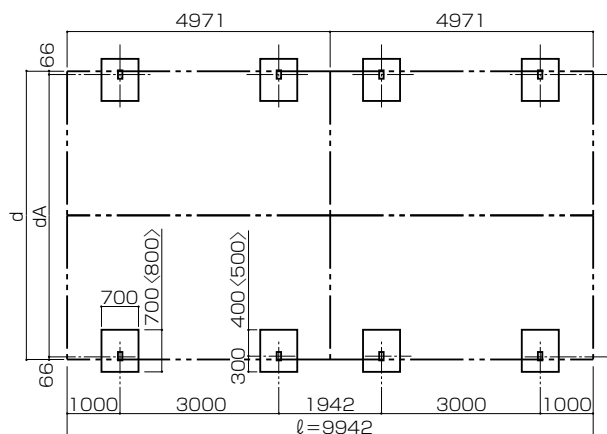
■縦連棟の取付け

1 基礎の施工

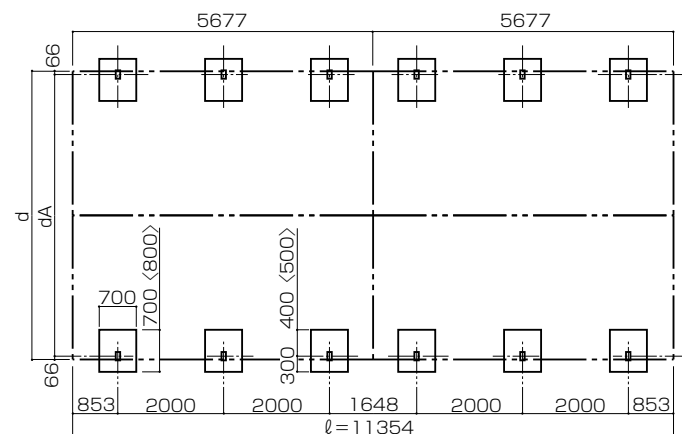
- 柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘込みます。
- ※基礎構造については、基本タイプを参照してください。

単位mm		
サイズ呼称	d	dA
48	4837	4702
51	5140	5006
54	5443	5309
60	6061	5924

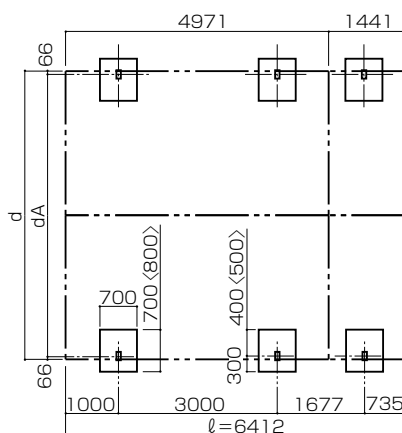
●50サイズ+50サイズ



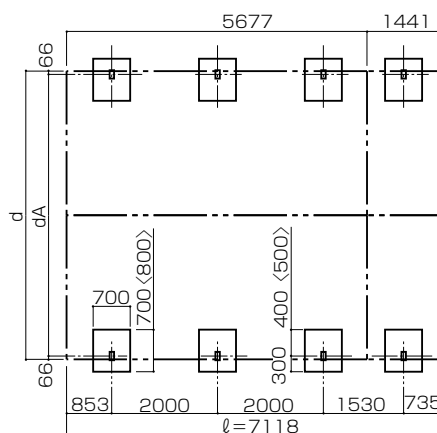
●57サイズ+57サイズ



●50サイズ+14サイズ

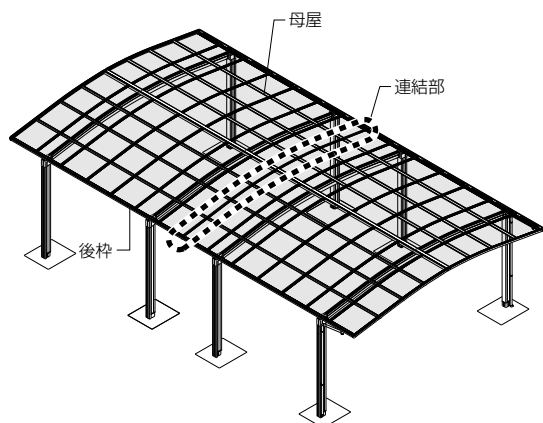


●57サイズ+14サイズ

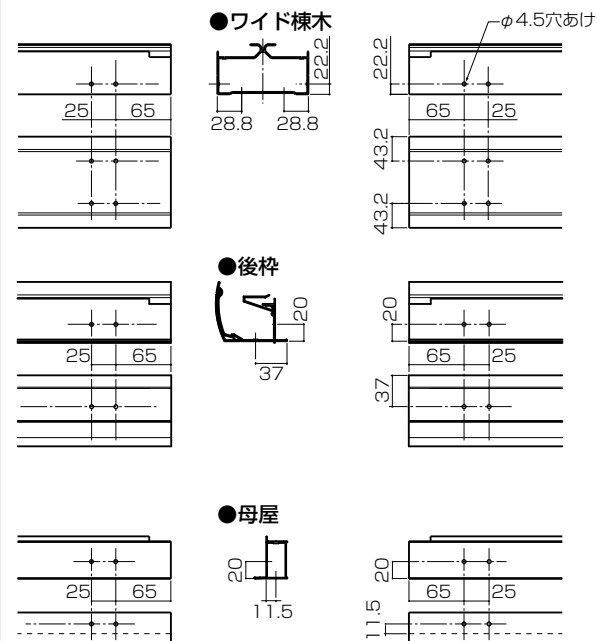


2 本体の組立て

- ①組立て前に、ワイド棟木・母屋・後枠の連棟側を現場加工してください。(図5)



■ワイド棟木・母屋・後枠加工図(図5)

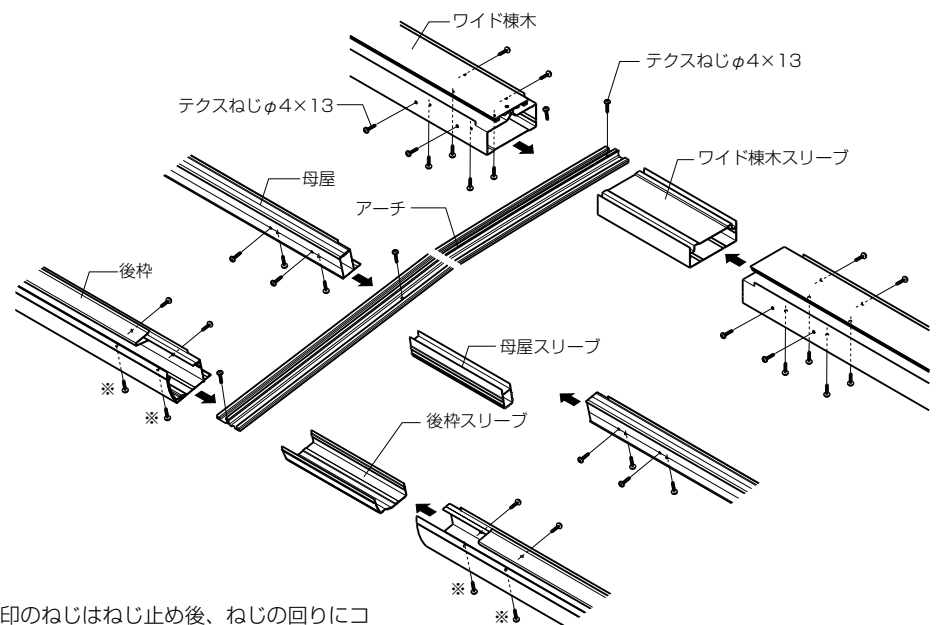


②連棟部分を組立てます。

※連棟部分にコーキング材を充てんし、連棟スリーブ、ワイド棟木、母屋・後枠をそれぞれ接続します。
(図6)

③ワイド棟木の接続部分にワイド棟木止水パッキンを張付けます。(図7)

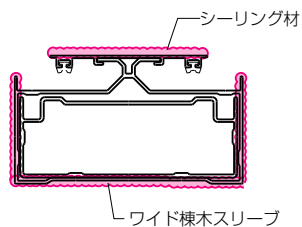
※アーチカバーとワイド棟木の間に、コーキング材を充てんしてください。



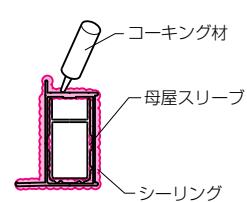
※印のねじはねじ止め後、ねじの回りにコーキング材を充てんしてください。

■シーリング箇所 (図6)

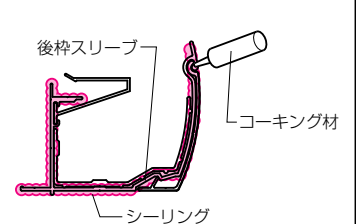
●ワイド棟木



●母屋

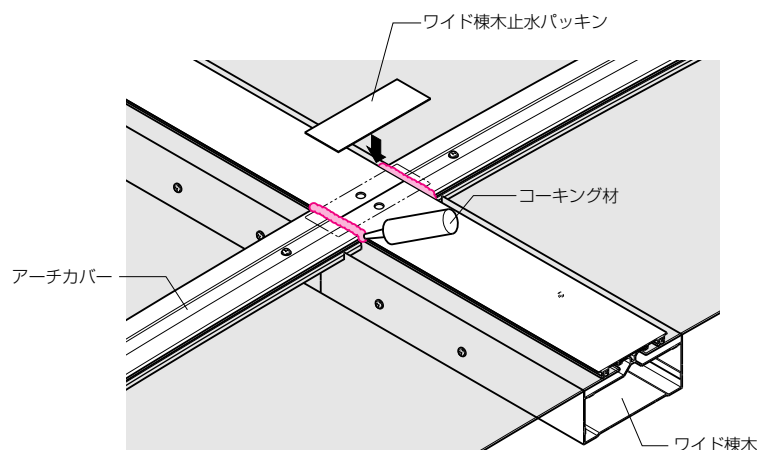


●後枠



▲ 注 意

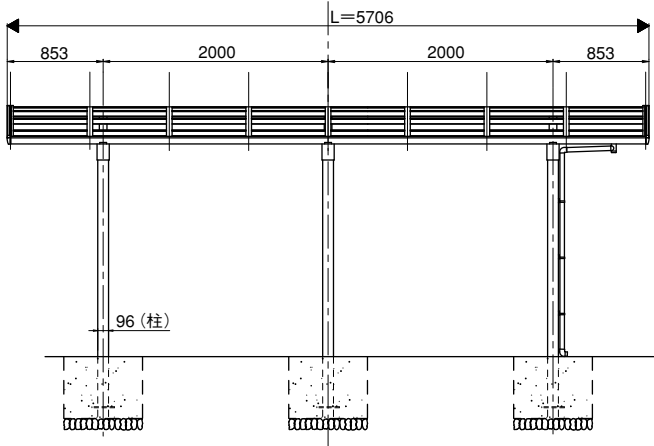
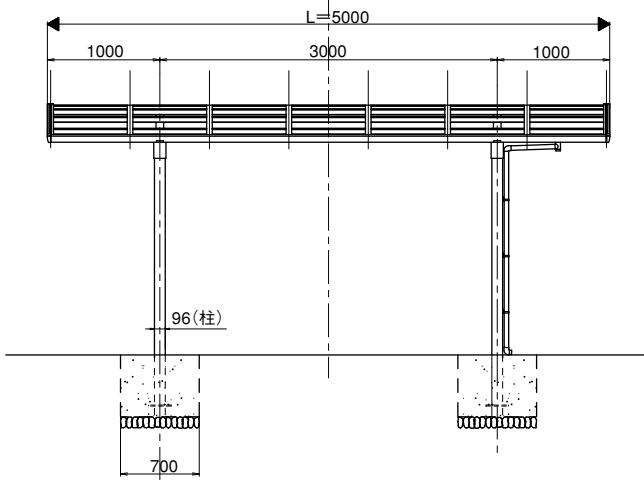
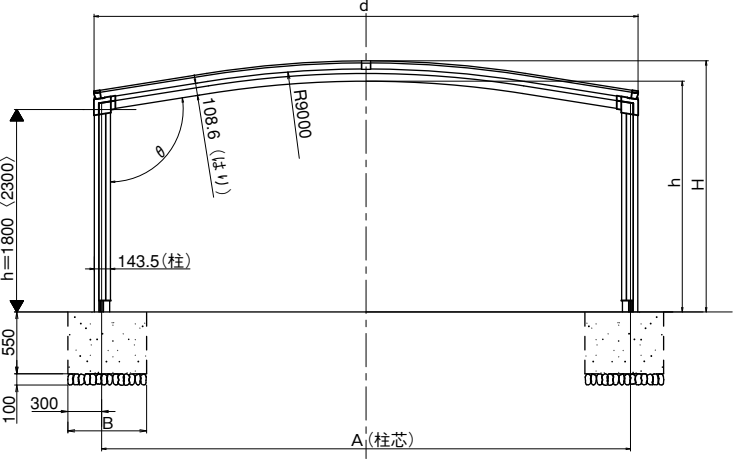
●指定の個所に必ずシーリングしてください。



(図7)

■納まり図

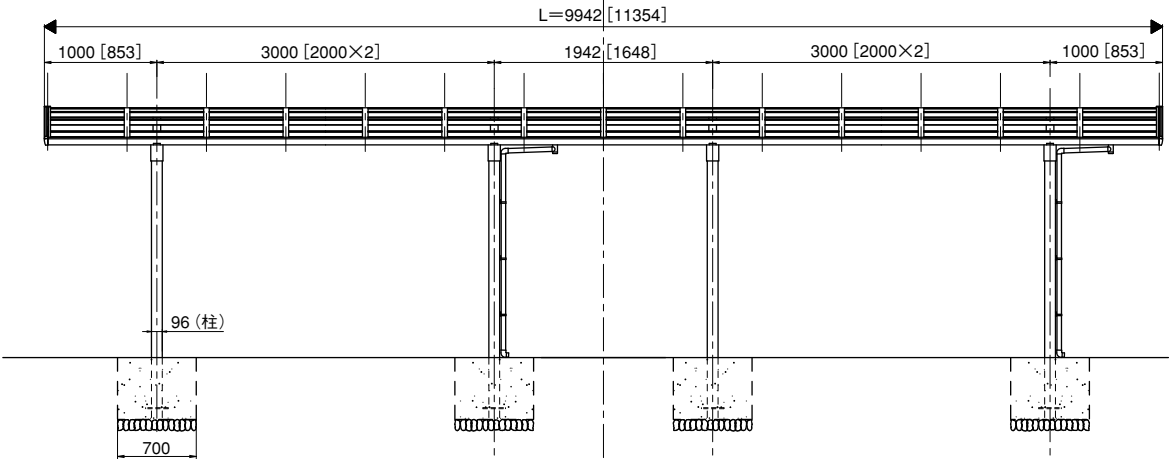
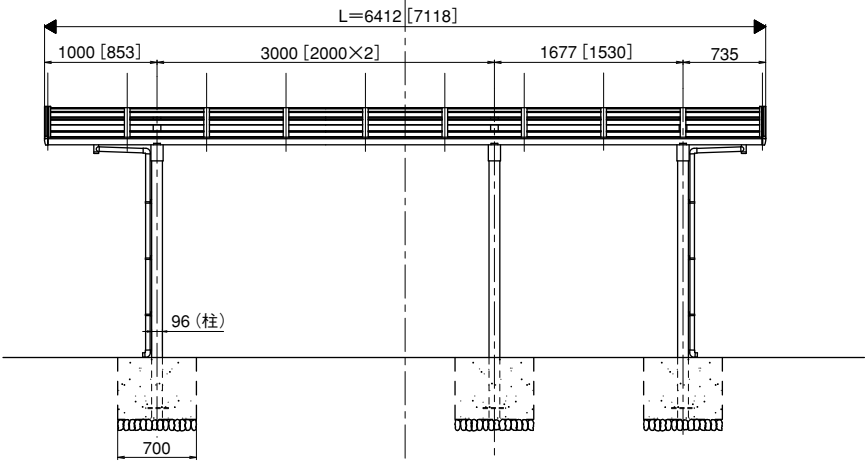
●基本タイプ



サイズ	d	h	H	A	B	θ
48	4837.7	2053.3 (2553.3)	2230.7 (2730.7)	4697	700	99°
51	5140.7	2077.4 (2577.4)	2255.0 (2755.0)	5000	700	99°
54	5443.4	2100.2 (2600.2)	2278.9 (2778.9)	5303	700	99°
60	6060.2	2217.2 (2717.2)	2400.2 (2900.2)	5917	800	102°

※本図は h=18 サイズを示します。ロング柱仕様は、〈 〉に示します。
※本図は d=48~54 サイズを示します。d=60 サイズは、() に示します。

●縦連棟



●断面図

